

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0249			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子情報工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『初級ロシア語20課』						
担当教員	山本 有希						
到達目標							
1)学習した表現を用いて自己紹介ができるようになる 2)学習した表現を用いて、ロシア語で質問に答えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	主として形容詞、動詞の時制、数詞等について、8割以上正しく答えられる。			主として形容詞、動詞の時制、数詞等について、6割以上正しく答えられる。		主として形容詞、動詞の時制、数詞等の正答率が6割に到達しない。	
評価項目2	上記文法事項を活用した口頭表現とその発表がスムーズにできる。			上記文法事項を活用した口頭表現及びその発表ができる。		上記文法事項を活用した口頭表現及びその発表が満足にできない。	
評価項目3	実施される単語テストにおいて正答率が8割を超える。			実施される単語テストにおいて正答率が6割を超える。		実施される単語テストにおいて正答率が6割に達しない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	【学習目標】 ロシア語初級文法・会話の学習を通じて、ロシアという国の社会や文化に親しむ。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義および演習						
注意点	(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画、評価方法及び評価項目は変更することができる						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1)ガイダンス 2)復習		1)授業に関する説明を行う 2)昨年度の既習事項を振り返る		
		2週	第12課		「私は忙しかった」完了体を用いる未来形		
		3週	第12課		「私は忙しかった」 形容詞短語尾形・1人称命令法		
		4週	第13課		「スーブは何かおすすめですか？」造格の用法		
		5週	第13課		「スーブは何かおすすめですか？」疑問詞＋不定形		
		6週	第14課		「ご気分はいかがですか？」 形容詞・副詞の比較級		
		7週	第14課		「ご気分はいかがですか？」 所有・存在の否定生格		
		8週	中間試験		既習事項の確認を行う		
	2ndQ	9週	1)試験返却 2)第15課		1)試験返却と解説 2)「いつお出かけですか？」		
		10週	第15課		「いつお出かけですか？」 個数詞と名詞の結合①		
		11週	第15課		「いつお出かけですか？」 個数詞と名詞の結合②		
		12週	第16課		「ちょっとお伺いしますが…」無人称文①		
		13週	第16課		「ちょっとお伺いしますが…」無人称文②		
		14週	総復習		前期の学習事項の復習を行う		
		15週	期末試験		既習事項の確認を行う		
		16週	成績確認		成績評価・確認を行う		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0